



# Imagine Cup 紹介

マイクロソフト株式会社  
アカデミックエバンジェリスト  
渡辺弘之

[hwata007](#)

THE WORLD'S  
PREMIER  
STUDENT  
TECHNOLOGY  
COMPETITION

# スピーカープロフィール

- 生まれ  
福島県いわき市
- 大学  
福島大学経済学部卒業
- 1991～1998年  
日本のSI企業時代（2社）  
金融・流通・通信向けアプリケーションの設計・開発を経験
- 1998～2007年  
サン・マイクロシステムズ株式会社（現：日本オラクル）  
Webサーバー、アプリケーションサーバーなどの製品担当SE
- 2007年～現在  
マイクロソフト株式会社  
アカデミックエバンジェリストとして、  
学生・教職員に向けて、マイクロソフトの技術啓発活動を担当



# 挑戦してますか？

## 自分×仲間×挑戦＝新しい自分

### <スキルアップ>

- 自分の才能を試せる、力試し
- IT業界のリーダーになる一歩
- 自分の強みを鍛える
- 自分の努力の成果を発表する場

### <世界を知る>

- 世界のビジネスシーンに直結するアイデアを体感できる。
- 世界のレベルを知る、世界が見える、視野が広がる
- 他の国の学生と触れ合える。
- 日本には分からないことを知る場

### <人間力>

- チームワークで結果を出そうとする過程。
- コミュニケーション能力が試される
- 競争。良質の悔しさ。これ以上ない努力
- 結果が評価される
- 表現力が試される
- 人間力 人生を考えるうえで自分の在り方を知る
- 成長のスピード
- 伸びる可能性のある段階にチャレンジを
- チャレンジ精神



# Imagine Cupとは

- マイクロソフトが主催する世界最大の学生向けITコンテスト
- 高度人材育成の一環として、学生のチャレンジの場として2003年より開始
- Imagine Cup 参加者：のべ100万名の学生が参加

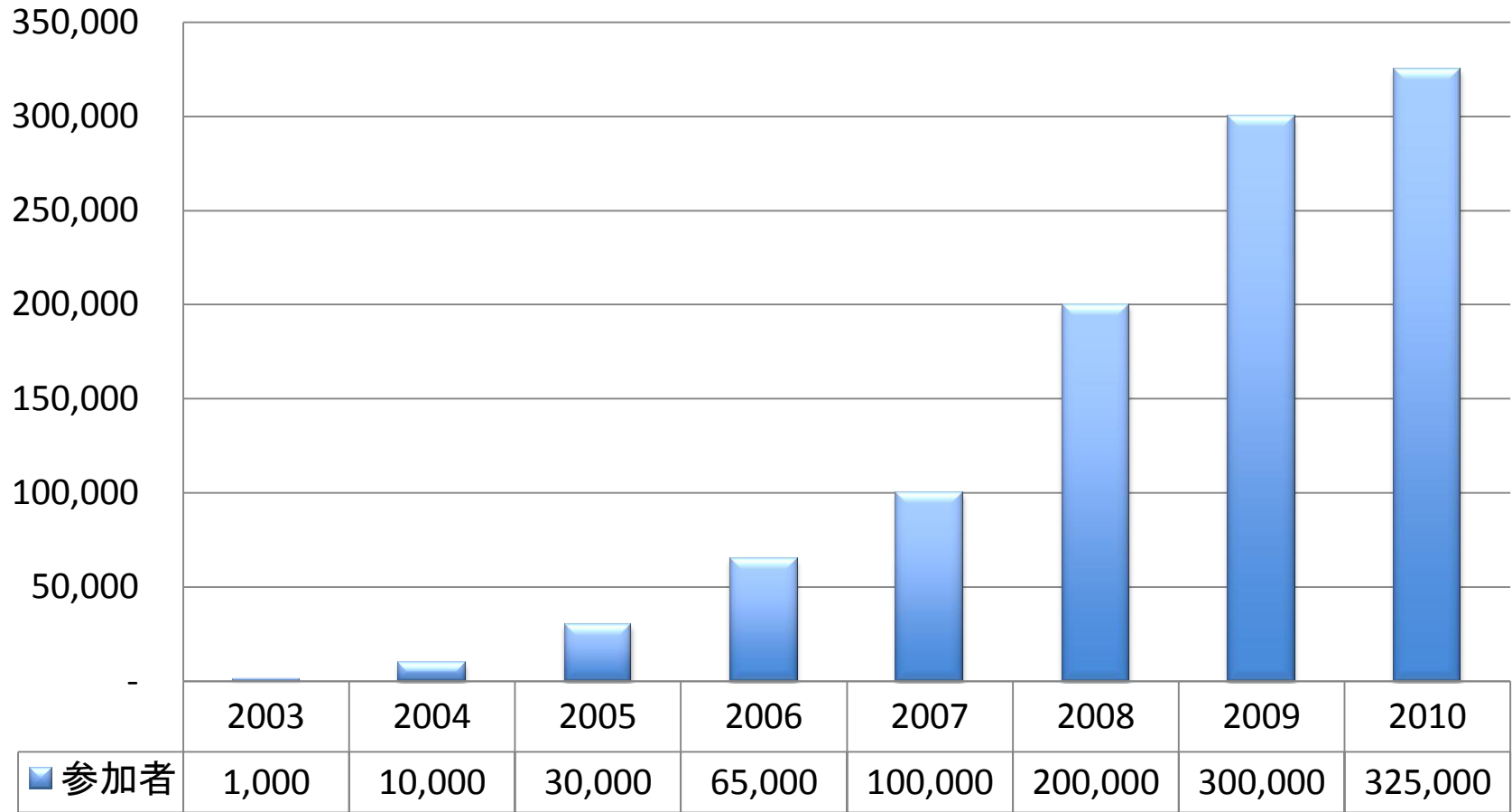


# Imagine Cupの歩み

- |     |                  |               |     |                  |               |
|-----|------------------|---------------|-----|------------------|---------------|
| 第1回 | Imagine Cup 2003 | スペイン (バルセロナ)  | 第5回 | Imagine Cup 2007 | 韓国 (ソウル)      |
| 第2回 | Imagine Cup 2004 | ブラジル (サンパウロ)  | 第6回 | Imagine Cup 2008 | フランス (パリ)     |
| 第3回 | Imagine Cup 2005 | 日本 (横浜)       | 第7回 | Imagine Cup 2009 | エジプト (カイロ)    |
| 第4回 | Imagine Cup 2006 | インド (デリー、アグラ) | 第8回 | Imagine Cup 2010 | ポーランド (ワルシャワ) |



# Imagine Cupの歩み



# Imagine Cup 日本チームの実績

## 【 第6回 Imagine Cup 2008 】

アルゴリズム部門 **第3位**

慶應義塾大学 高橋直大

## 【 第7回 Imagine Cup 2009 】

写真部門 **第3位**

武蔵野美術大学 寺田志織

## 【 第4回 Imagine Cup 2006 】

ソフトウェアデザイン部門

鈴鹿工業高専 大居司 海城高等学校 竹井悠人、  
大阪大学大学院 中山浩太郎、前川 卓也

**Best3**

ビジュアルゲーミング部門

立命館大学 鈴木 海靖、海城高等学校 竹井 悠人

**Best6**

## 【 第3回 Imagine Cup 2005 】

ソフトウェアデザイン部門

大阪大学大学院 中山 浩太郎、前川 卓也、富安 宏和、ローズ・ロバーツ

**Best8**

ビジュアル  
ゲーミング部門

灘高等学校 加藤新英

**第1位**

ビジュアル  
ゲーミング部門

一関工業高等専門学校  
熊谷一生

**第3位**



# Imagine Cup のテーマ

*Imagine a world where technology helps solve the toughest problems*  
想像しよう。地球規模の難題がテクノロジーの力で解決される、そんな未来を。

～国連ミレニアムの開発目標を参考に～

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
2. 普遍的な初等教育の達成
3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
4. 幼児死亡率の引き下げ
5. 妊産婦の健康状態の改善
6. HIV/ エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
7. 環境の持続可能性の確保
8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの構築



## 過去のテーマ

2008: テクノロジーの活用による、環境保護の実現に向けて

2007: テクノロジーの活用による、より良い教育の実現に向けて

2006: テクノロジーの活用によるより健康な生活の実現に向けて

2005: テクノロジーの力であらゆる境界をなくしていこう

2004: テクノロジーの力で日常を生活しやすくしよう

2003: ウェブサービスや.NETを使って、人、情報、システム、デバイスをつなげよう



# 第8回 Imagine Cup 2010

- ・ 開催地：シヨパン生誕200年で盛り上がる ポーランド ワルシャワ
- ・ 開催時期：2010年7月3日 - 8日
- ・ 参加人数：100を超える国と地域 32万名から選抜、450名の学生が参加
- ・ 部門数：全5部門
- ・ 日本代表：2部門
  - ソフトウェアデザイン部門 筑波大学附属駒場高校 PAKEN
  - 組み込み開発部門 国立 東京工業高等専門学校 CLFS



# Imagine Cup 2010 Winners

- ソフトウェアデザイン部門  
**1位：タイ** 2位：セルビア 3位：ニュージーランド
- 組み込み開発部門  
**1位：台湾** 2位：ロシア 3位：フランス
- ゲームデザイン部門  
**1位：フィリピン** 2位：ベルギー 3位：フランス
- デジタルメディア部門  
**1位：台湾** 2位：サウジアラビア **3位：シンガポール**
- ITチャレンジ部門  
**1位：中国** 2位：ボリビア **3位：シンガポール**



# Video





**Toland**<sup>TM</sup>  
imagine  cup

fun and dynamic  
**Creativity**



**ONE WORLD**  
One world  
**One**



USA 2011  
imagine X cup™  
by Microsoft®

# Imagine Cup 2011



# Imagine Cup 2011 競技部門

- ソフトウェアデザイン部門（日本大会開催予定）
- 組み込み開発部門（日本大会開催予定）
- ゲームデザイン部門
  - Windows / Xbox (XNA)
  - Web (Silverlight)
  - Mobile (Zune / Phone)
- デジタルメディア部門
- ITチャレンジ部門



USA 2011  
imagine X cup™  
by Microsoft®

**Microsoft®**